

## 第三部 懇親会



### ●懇親会開会の挨拶●

秋田県立能代高校東京同窓会副会長

近藤 誠氏 旧制十六期



え、お晩でございます。一部・二部と滞りなく終わりました、いよいよ第三部の懇親会、同窓会の同窓会らしさがここから始まるわけでございます。先ほど前会長・新会長からいろいろお話があった通りですが、要するに同窓会というのは現在の年齢とか地位とかというものは関係なく、あの当時のそれぞれ同窓生・同期生・クラス仲間・先輩それぞれ先生たちが、あの当時の状態でここで酒を酌みかわす、これが同窓会の真髄とさえ言えるのではないかと思うのであります。

今年幹事の人たちが、この会のためにいろいろ腐心いたしました。特に若い幹事の方々がたいへん頑張ってくれましたし、市のほうからいろいろな協力もありまして、今日は本年度目の能代の七夕をここに催すことになりました。若干ここに小さな田楽みたいな物、提灯もございまして、新規に仲間入りの意味を含めまして、今年新卒の若い人たちに先頭を切ってもらいながら、太鼓の囃子で景気をつけて懇親会を始めたいと思います。それでは皆さん、乾杯の用意をしてください。

### ●乾杯の音頭●

藤田 成孝氏 旧制一期



旧制一期の藤田でございます。昨年も皆さま

方の前で乾杯の音頭を取らせて頂きましたが、もう本当に度重なる乾杯のご指名で恐縮している次第でございます。今日は皆さんにお集まり頂き、盛大な会になりましたこと心からお祝い申し上げます。ご来賓の方々のお話、また先ほどは高橋さんの貴重な体験に基づく講演をお聴かせ頂き、この上ない盛り上がりを見ることができました。本当にありがとうございます。この会も年を重ねるに従いまして、益々盛大になつていくことを心から喜んでおる次第です。私もすでに第一線からは引退している身ではございますが、このように皆さまとお目にかかれることは本当にうれしいことでございます。

それでは、乾杯の音頭を取らせて頂きます。能代高校東京同窓会の発展と母校の益々の隆盛を祈り、また、併せて皆さまのご健勝をお祈りすることで、乾杯の音頭とさせていただきます。それではご唱和お願いいたします。カンパーイ！ おめでとうございました。

### 恩師メッセージ

柴田 旭先生



ただ今ご紹介頂きました柴田でございます。旧姓は佐藤でございます。私が能代中学・能代



高校と在任しましたのは、昭和二十二年から三十九年三月までの十七年間の長い期間でございました。その間、戦後初めての修学旅行では、米を持参して北海道巡りをするなど、数々の懐かしい思い出がございます。先ほど板倉前会長さんから、同窓生は教師を大事にしろというありがたい言葉を頂いたわけですが、われわれ教師のほうから見ますと、卒業された生徒さんたちが果たしてどうなっているのだろうか。それを見届ける責任感のようなものが強かったのですが、こうして皆さま方の立派な成長ぶりを拝見しまして、非常に心強く思った次第でございます。なお、椎名校長先生から軟式野球の話がでしたが、実は、私能代高校の時代に軟式野球同好会の顧問を命じられました。それがやがて部に昇格しまして、初代部長を勤めたものでございます。現在も顧問を仰せつかっておりますが、何とかうまく運営されております。今日は東京同窓会にお招き頂きまして、誠にありがとうございます。

### 平野 忠夫先生

平野でございます。この度はこの盛大な会にお招き頂きましてたいへん恐縮いたしております。うれしくまたありがたい気持ちでお邪魔させて頂きました。どうもありがとうございます。私が母校の教壇に立たせてもらいました期間は、昭和三八年から四四年の七年と、四八年から五四年の七年の通算十四年間でございました。その間、甲子園へ三回の出場及び樽子山から現在の高橋へ校舎が移転するという歴史の時期に巡り会いまして、非常に感慨深いものがあ



るわけでございます。母校を懐かしく振り返るときに、やはり樽子山の校舎で学んだ能中時代にどうしても思いがいたすわけでございます。私が生まれましたのは大正十四年でございまして、能中第一期生が入学をされました年頃であります。したがって、能代高校創立六十六周年は私の満年齢でもございます。昭和十三年に能中へ入学いたしました。その秋に第一回六十キロ強行軍が挙行されました。ここに持参いたしましたこのカードが、そのときの関門通過の手形でございます。いちばん最後の向能代のところに、無事通過を証明する判がありません。実はそこまでに白足袋とか草鞋をすべて使い果たしまして、ついにそこでダウンの憂き目を見ました。ほとんど素足の状態でした。このカードは私にとりましてたいへん苦渋に満ちた屈辱の品であります。その後五十三年にわたって大きなトランクの中に入れておいたものであります。その中には、能中時代に使ったものもろの教科書や恥ずかしながら通信簿などもありまして、母校をしのぶものがたくさん保存してございます。ここで締めくくりたいと思っておりますが、卒業生の皆さまははるか能代に思いを寄せながら、この地で志を立てて頑張っておられる様子でございます。どうかこれからも初志貫徹の

ため、悔いのない頑張りを続けて頂きたいと思っております。たいへん粗辞ではございますが、お礼の言葉とさせて頂きます。本日はどうもありがとうございました。

### ● 祝 辞 ●

小野清子参議院議員秘書 藤田 貞子氏



板倉前会長始め皆さまには、たいへんお世話になっております。参議院議員小野清子の秘書でございます。本日は能代高校東京同窓会の総会にお招き頂きましてありがとうございます。本来ならば、小野清子本人がご挨拶に上がるところでございますが、皆さまご承知の通り政局が急を告げている状態で、ご挨拶に上がれず、代わりに参上いたしました。まず、そのことをお話し頂きたいと存じます。小野清子は、環境政務次官として元気に活動が続けております。また、来年の参議院議員選挙に向けて、さる八月の一日に佐々木満先生ともども自民党の公認を頂きまして、東京選挙区から立候補することが決まりました。少しでも皆さまのお役に立てるように、努力を続けてまいる所存でございますので、どうぞ皆さまの暖かいご支援をお願いいたしますと存じます。最後に、能代高校東京同窓会の益々のご発展と、ご列席の皆さま